

# 平成23年度学校経営方針

## 1 生徒の実態

### ◎ 教科面の課題

各教科とも授業への取組状況はよい。更に知識の習得を高めるために意識を高め、家庭学習の定着に努めていく。

### ◎ 生活面の課題

低学年ほど言葉の使い方に関する指導が必要である。特に、人間関係を築いていく上で大切なコミュニケーション能力の育成を行っていく。

### ◎ 情緒面の課題

表現の豊かさや寛容な心などが必要である。合唱を通して表現活動に取組み、他を認める心や協働で合唱曲を創り上げていく喜びを心の中に育てていく。

## 2 経営方針

### (1) 基本とする考え方

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの要素を基盤として、キャリア教育の理念を中核にして生きる力（自主自立の力＝自ら考え・判断し行動する力）を育む教育の推進に努める。子ども及び保護者にやりがい、学びがい、通わせがいのある学校をめざし「生きる力」を育む教育の推進に努める。また、子どもたちに、教科や学校行事・体験的学習を通じて、「何のために学ぶか」「学んだことをどのように活かしていくか」考えさせ、一人一人の将来の夢の実現に結びつけさせたい。

### (2) 5つの取組

- 1) 日常の教育課程や体験学習を通し生きる力として「自主自立の力」の育成を推進。
- 2) 学校・家庭・地域の協働連携による信頼される学校づくりの推進。
- 3) 全教職員の共通認識による新教育課程実施への取組を推進。
- 4) 規範意識を醸成させ、いじめなどの差別に立ち向かうたくましい心の育成の推進。
- 5) 道徳教育を充実させ命の尊さや生きる喜びを学ばせる効果的な取組の推進。

### (3) 具体的な取組

- 1) 日常の教育課程や体験学習を通し生きる力として「自主自立の力」の育成を推進。
  - ◎確かな学力の定着を図るため補習等の機会を設け、個々の生徒の支援に努める。
  - ◎清掃活動や委員会活動を体験させ勤労の尊さや働く意義を学ばせる。
- 2) 学校・家庭・地域の協働連携による信頼される学校づくりの推進。
  - ◎生徒の地域への愛着心を育成するため、積極的に地域行事に参加させる。
  - ◎学校行事を通して、地域住民が多く参画の学校運営に努める。
- 3) 全教職員の共通認識による新教育課程実施への取組を推進。
  - ◎小・中の連続性を大切にして、創意工夫された授業の実践に努める。
  - ◎公開授業を工夫改善し、学校教育の実践が理解される情報提供の場づくりに努める。
- 4) 規範意識を醸成させ、いじめなどの差別に立ち向かうたくましい心を育てる取組の推進。
  - ◎いじめの早期発見・早期対応の徹底、教育相談体制の充実に努める。
  - ◎問題行動に対する毅然とした対応や生徒の心情、背景を把握し、保護者との連携の強化に努める。
- 5) 道徳教育を充実させ命の尊さや生きる喜びを学ばせる効果的な取組の推進。
  - ◎道徳授業を有効に活用し、命の尊さや生きる喜びを学ばせ、人間として生きる喜びを見出すよう支援する。
  - ◎将来を見通して、体験的・問題解決的学習の充実を図り、夢に結びつくキャリア教育の取組に努める。

### (4) 保護者・地域との連携

◎家庭学習の重要性を生徒・保護者に啓発し、習慣化の定着に努める。

- ◎地域行事を生徒、学校、家庭、地域の四者で参画協力して創り上げる取組に努める。
- ◎学校・地域の連携によって作る防災対策の充実と安全な地域づくりに努める。
- ◎学校と保護者・地域・関係機関の望ましい関係づくりに努める。
- ◎公開授業や地区懇談会の内容を工夫改善し、理解しやすい情報提供に努める。

(5) 教師として

- ◎新教育課程の熟知し、実施に伴い高い専門性を発揮できるよう準備に努める。
- ◎お互いを認め合い、信頼し合える教職員集団づくりに努める。
- ◎生徒の心情や生活環境を把握し、個々の立場を理解して「生きる力」を身に付けさせるよう支援に努める。
- ◎お互い健康管理に気づかい、毎日の生活を意欲的に過ごせる職場づくりに努める。

### 3 学校教育目標並びに生徒像・教師像・学校像

#### 学校教育目標

「未来に向けて、たくましく心豊かで、夢の実現に努力する生徒」

#### 生徒像・教師像・学校像

- |     |   |
|-----|---|
| 生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え正しく判断し行動できる生徒</li> <li>・明るく思いやりのある生徒</li> <li>・心身ともに、たくましい生徒</li> </ul> |
| 教師像 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの夢を生徒ともに語れる教師</li> </ul>  |
| 学校像 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え判断し行動できる力を身に付け、仲間たちと将来の夢について語り合える学校</li> </ul>                          |

### 4 平成23年度の重点項目

- 1 いじめの早期発見・早期対応並びに不登校生徒への対応
  - ◎個人への面談を中心とした支援のあり方（保護者との連携・時期・回数）
  - ◎いじめ等に関するアンケートの実施（年3回実施）
- 2 確かな学力の定着
  - ◎補習のあり方及び実施方法
  - ◎学習支援ボランティアの活用（年間計画として企画・本年度・・・数学、国語）
  - ◎補習の機会として朝読書を活用
- 3 清掃活動の徹底指導
  - ◎生徒を自主的に活動させる点検活動への教師の支援
  - ◎通年を通じた教室環境の整備徹底
  - ◎清掃分担場所を見直し、清掃活動の活発化
- 4 学校図書館の充実した利用
  - ◎図書ボランティアとの連携
  - ◎貸し出し方法の見直し
  - ◎委員会を活発化し、広報活動の活発化
  - ◎学級文庫を有効に活用し読書環境の整備
  - ◎授業（国語・学活）を活用し、図書館利用の徹底指導
- 5 合唱活動を通して豊かな心や表現活動の育成
  - ◎帰りの会等を活用し、合唱活動の活発化
  - ◎生徒会と連携し、自発的活動として歌唱指導の取組
    - ※ 上級生による下級生への歌唱指導の取組
  - ◎表現活動やコミュニケーション能力の育成としての活用